

中高一貫教育だより

令和5年12月20日（水） 第2号発行

今年度の中高数学交流授業は10月で、中高英語交流授業は11月で終了しました。また、12月には理科の出前授業を実施しました。今回は数学・英語の交流授業と理科の出前授業の様子をお伝えします。

<数学の交流授業>

6月から10月まで全13回、数学の交流授業を行いました。10月3日(火)～5日(木)の3日間は『関数 $y = ax^2$ のグラフ / 関数 $y = ax^2$ の値の変化』について軽米高校の吉田憲司先生と伊東浩二先生が中学校で授業を行いました。アンケートの結果を一部紹介します。

【事後アンケート集計結果（一部抜粋）】

数学の授業に関心を持って参加することができた。										
	あてはまる		ややあてはまる		どちらともいえない		あまりあてはまらない		あてはまらない	
全体	25	66%	11	29%	2	5%	0	0%	0	0%
集中授業を受けて良かった。										
	あてはまる		ややあてはまる		どちらともいえない		あまりあてはまらない		あてはまらない	
全体	31	82%	7	18%	0	0%	0	0%	0	0%



【数学集中講義を受けた中学生の事後アンケートより】

- ・関数は苦手だったけど、授業を通して理解できるようになりました。
- ・高校の先生から教えてもらったことで普段とは少し違った感じがしていつもより集中してできました。そして高校で習うところも少し知れたのでよかったです。
- ・高校で使うことやグラフの中学と高校の違いを理解することができました。三日間でグラフの解きかたや式を理解できてよかったです。ありがとうございました。

<英語の交流授業>

中学3年生を対象とした英語の交流授業全14回が終了しました。11月9日(木)、10日(金)、14日(火)の3日間は、軽米高校の小野寺陽子先生と屋形場哲也先生が主担当で集中講義を実施しました。内容は昨年同様ディベート活動で、主な活動は次の通りです。

9日(木)	高校生のモデルスピーチの確認 / 型に合わせてグループ毎のディベート
10日(金)	All junior high school students should go to the local high school. / グループ毎にアイデアを共有
14日(火)	ピンポンディベート



【英語集中講義を受けた中学生の事後アンケートより】

- ・集中講義を通して力を伸ばすことができたし、ピンポンディベートは楽しく英語を使って会話ができるのですごくよかったなと思いました。
- ・話す能力が上がったと思ったし、新しい単語を覚えることができるとても良かったです。
- ・単語の書きが苦手ではありましたが、この数日で英文をたくさん書くことによって、英語を書くスピードが上がったように思います。
- ・分からないところで困っているとすぐに見つけて教えてくれるので助かりました。英語の力を伸ばせたのでやってよかったし、クラスで交流できたので楽しかったです。

<理科の出前授業>



12月6日（水）中学2年生を対象に恒例の「豚の目の解剖実験」を行いました。軽米高校から鈴木麗先生が中学校を訪問し実験をしました。初めての作業でなかなか手がつかない生徒もいたようですが、時間が経つにつれて少しずつ慣れていったようです。下に生徒の感想の一部を紹介します。

- ・視神経は瞳孔の真反対にあると思っていたけれど、少し下にずれていることが分かった。
- ・初めてブタの目の解剖をやって、人と同じようにできているということを知ることができました。
- ・水晶体は虫眼鏡のようにズームアップできるのに驚いた！
- ・水晶体はレンズの役割をしていることは聞いたことがあったけど、丸くブヨブヨしていることに驚いたし、文字の上に置くと大きくなって、本当にレンズのようになっているんだなと思った。瞳孔が黒く見えるのは目の内側が黒いからで、本当は透明ということが分かった。
- ・初めて解剖をしました。私は医療関係の仕事をしたいと思っているので、「解剖ってこんなかんじなんだな」と思いました。目のつくりなど、言葉は知っていても実際に解剖してみるとより具体的につくりを知ることができて良かったです。人の目が悪くなるのは、目の筋肉が水晶体の調節をできなくなるからなんですか？（←正解です）
- ・思ったよりもシンプルなつくりになっていたので驚きました。解剖をすることに興味があったのでとても楽しかったです。